

平成 27 年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	特定非営利活動法人子どもシェルターモモ（担当者 西井葉子 ）				
	合同実施団体 （*協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。）	特定非営利活動法人杜の家				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	こども総合相談所 こども企画総務課		電話	086（803）2525 086（803）1220	
	担当者 名	職名	こども総合相談所		職名	こども企画総務課
		氏名	出原 晋一郎		氏名	宇野 弘靖
事業の名称	児童養護施設退所児童等へのアフターケア事業					
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>児童養護施設等で育った子どもたちの多くは虐待のトラウマを抱えており、対人関係で躓くことも少なくない。学歴についても高校卒業、中学卒業の子どもが多く、就職活動や就労において困難を抱えている。施設退所後はそうしたハンディを抱えながらも、自らの力だけで生きていかざるを得ない状況にある。そのため、子どもたちが困難に遭遇した場合、孤立してしまい、生活が破たんし、さらなる困難を抱え込むようになっているのが現状である。</p> <p>これまで施設退所者のアフターケア支援は必要とされながらも、職員のボランティア精神に頼らざるを得ない状態であり、社会的養護の大きな課題である。</p> <p>平成 25 年度の岡山市内の児童施設退所者に向けたアンケートでは、回答者の 46%が困ったときの相談相手は「暮らしていた施設の職員」との解答であった。しかし、現在の人員配置では職員が退所者の支援まで行うことは非常に困難な状況である。</p> <p>児童養護施設等を退所した子どもや若者が退所後に抱える困難を解決するための「アフターケア事業」を行った。具体的には、対象者が気軽に立ち寄れる常設の居場所を設け、居場所を拠点として、相談窓口の運営、生活支援・就労支援等やそのための関係機関との調整を行った。</p> <p>また「アフターケア事業」を行うにあたって必要である児童養護施設に入所している子どもたちや施設との関係づくりのため、15～19 歳の子どもに対し、退所後の社会生活を送る上での必要な知識や社会常識等を学ぶ「児童養護施設等退所前学び事業」を実施した。</p> <p>こうした支援は継続的に行わなければならないため、平成 28 年度以降は「退所児童等アフターケア事業」として岡山市での事業化を目指し、「アフターケア委員会」で協議を続けてきた。その結果、平成 28 年度からは岡山市の事業として「退所児童等アフターケア事業」が実施されることとなった。</p>					
市と協働した内容と 協働の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体が果たした役割 事業の運営、事業内容の検証 2. 岡山市の担当課等が果たした役割 事業の内容への助言、施設への協力依頼、事業化に向けた協議 3. 協働した効果 平成 28 年度より岡山市の事業として「退所児童等アフターケア事業」実施決定。 					

<p>事業の内容</p>	<p>児童養護施設等を退所した子どもや若者(以下、対象者)が退所後に抱える困難を解決するため、下記の支援を行った。</p> <p>【アフターケア相談所事業】</p> <p>①居場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者が気軽に立ち寄れる常設の居場所を、現在の子どもシェルターモモ事務局が使用している建物に設ける。常駐のスタッフを配置し、居場所を拠点として、相談窓口の運営、生活支援・就労支援等やそのための関係機関との調整を行った。 ・食事会等のイベントを開催し、当事者同士の交流の場を提供したり、ピアサポートを行った。 <p>②相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設関係者、児童相談所等の関係機関、対象者等からのアフターケアについての相談を受けけるための専用電話を開設した。 <p>③生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常駐のスタッフやボランティアスタッフが対象者に日常生活における様々な問題へのアドバイスを行った。必要に応じて手続き等の同行支援を行った。 ・行政や専門家(弁護士、精神科医等)、入居支援センター等の他の支援機関など社会資源へのつなぎ役を担った。 <p>④就労支援・学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや若者就職支援センター、障害者就業・生活支援センター等の支援団体と対象者をつなぎ、就労先の幅を広げた。 ・スキルアップのための就学支援や資格取得に向けた学習支援を行った。 <p>【退所前学び事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在児童養護施設等に入所している15～19歳の子どもに対し、退所後の社会生活を送るうえでの必要な知識や社会常識等を学ぶためのセミナーを全6回開催した。講座内容は平成26年度事業についての施設ヒアリング結果を基に改善を行った。 ・退所後、困ったときにアフターケア相談所へ相談できるよう、子どもや施設関係者との関係づくりを行った。 ・施設や子どもたちに向けて事業内容が伝わるよう、分かりやすい広報を行った。 <p>【関係者会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市こども総合相談所、岡山市こども企画総務課や児童養護施設の施設長、関係団体等が集まって、今後の事業化に向けた協議や事業の方向性について協議を行う会議を年4回開催した。
<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<p>1. 総括責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもシェルターモモ専務理事 西崎 宏美 <p>2. 個別事業責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杜の家理事長 大森 浩史 ・子どもシェルターモモ事務局員 西井 葉子 <p>3. その他事業従事者 役割・氏名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもシェルターモモ理事 間嶋 利和 (学習支援、食事会) ・アルバイト 成瀬 京子 (アフターケア相談所事業) ・アルバイト 東 りえ (アフターケア相談所事業) ・アルバイト 高須 抄恵 (アフターケア相談所事業)

事業実施経過	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td> <td>アフターケア事業 (居場所の提供、相談窓口、生活支援、就労支援・学習支援)</td> </tr> <tr> <td>5/22、8/28 10/24、2/9</td> <td>関係機関会議 (参集者：岡山市、岡山県、児童養護施設施設長、関係団体等)</td> </tr> <tr> <td>7月26日</td> <td>第1回セミナー「先輩たちのはなし」</td> </tr> <tr> <td>8月22日</td> <td>第2回セミナー「仕事のはなし」</td> </tr> <tr> <td>9月26日</td> <td>第3回セミナー「お金のはなし」</td> </tr> <tr> <td>10月18日</td> <td>第4回セミナー「保険・年金のはなし」</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>第5回セミナー「契約のはなし」</td> </tr> <tr> <td>12月20日</td> <td>第6回セミナー「かんたんクッキング」</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> <td>報告書の作成</td> </tr> </tbody> </table>		月	実施事業内容	通年	アフターケア事業 (居場所の提供、相談窓口、生活支援、就労支援・学習支援)	5/22、8/28 10/24、2/9	関係機関会議 (参集者：岡山市、岡山県、児童養護施設施設長、関係団体等)	7月26日	第1回セミナー「先輩たちのはなし」	8月22日	第2回セミナー「仕事のはなし」	9月26日	第3回セミナー「お金のはなし」	10月18日	第4回セミナー「保険・年金のはなし」	11月28日	第5回セミナー「契約のはなし」	12月20日	第6回セミナー「かんたんクッキング」	1月～3月	報告書の作成
	月	実施事業内容																				
	通年	アフターケア事業 (居場所の提供、相談窓口、生活支援、就労支援・学習支援)																				
	5/22、8/28 10/24、2/9	関係機関会議 (参集者：岡山市、岡山県、児童養護施設施設長、関係団体等)																				
	7月26日	第1回セミナー「先輩たちのはなし」																				
	8月22日	第2回セミナー「仕事のはなし」																				
	9月26日	第3回セミナー「お金のはなし」																				
	10月18日	第4回セミナー「保険・年金のはなし」																				
	11月28日	第5回セミナー「契約のはなし」																				
	12月20日	第6回セミナー「かんたんクッキング」																				
1月～3月	報告書の作成																					
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割																				
	児童養護施設等退所者	ピアサポート																				
	キャリアカウンセラー	仕事、働くということについての指導																				
	ファイナンシャルプランナー	お金の管理の仕方についての指導																				
	社会保険労務士	保険・年金等の制度についての指導																				
	弁護士	契約等についての指導																				
	ハローワーク、産業カウンセラー	就労支援																				
	NPO 法人岡山入居支援センター	住居支援																				
本事業を踏まえた、 翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input type="checkbox"/> その他 ()																					
	----- 具体的な計画があれば記載してください。																					

平成27年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	児童養護施設退所児童等へのアフターケア事業
-----	-----------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	1,028,536	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		1,028,536	
事業収入	食事会参加費	21,762	
事業収入合計(b)		21,762	
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,482,000	
収入合計(e) = (a)+(b)+(c)+(d)		2,532,298	

<支出>

費目		金額	内訳	証拠書類番号
事業実施経費	人件費	1,167,935	アフターケア事業・学び事業人件費	1～48 80～117
	報償費	320,000	学び事業講師謝金、アフターケア委員謝金	49～79
	旅費(交通費)	212,193	公共交通機関実費、交通費(移動距離×@20円)、駐車場代等	177～280
	消耗品費	113,570	食事会食材費、調理実習食材費、教材、会議用茶菓	118～165
	通信運搬費	139,220	アフターケア専用電話代、郵送代	281～326
	使用料・賃借料	348,260	アフターケア賃借料@30,000円×11カ月 学び事業会場費	166～176 327～332
事業実施経費合計(f)		2,301,178		
管理運営経費	印刷製本費	231,120	報告書印刷2,000部	333
管理運営費合計(g)		231,120		
総事業費(h) = (f)+(g)		2,532,298		